

7. 推薦入試における配点

平成27年度推薦入試における大学入試センター試験と個別学力検査等の配点は、次のとおりです。

教 育 学 部

区 分		小論文	面 接・ 調査書等	口頭試問・実技検査	計	
学校教育 教員養成課程	幼児教育 コース	(ア)幼児教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 100	350
	小学校教育 コース	(イ)小学校教育に関心をもつ者	100	150		250
		(ウ)特別支援教育に関心をもつ者	100	150		250
	中学校教育 コース	(エ)国語教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(オ)数学教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(カ)理科教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(キ)技術教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(ク)家庭科教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(ケ)音楽教育に関心をもつ者	100	150	実技検査 200	450
		(コ)美術教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
(サ)保健体育教育に関心をもつ者	100	150	実技検査 200	450		
人間発達環境課程		100	150		250	

法 学 部

区 分	大学入試センター試験						個別学力検査等			計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小計	小論文	面接	調査書・ 志望理由書	
(昼間コース) 法 学 科 (推 薦 I)	/						100		※1 120	220
(昼間コース) 法 学 科 (推 薦 II)	200	/	※3 200	/	※2, ※3 200	※3 400	/	/	※4 60	460

※1 面接の点数は調査書、志望理由書の評価を含みます。

※2 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用し、配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。

※3 数学、外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。

※4 調査書については、地歴・公民の成績を重視し、さらに学業以外の活動についても評価します。

経済学部

区 分	大学入試センター試験						個別学力検査等			計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小計	小論文	面接	調査書	
(昼 間 コ ー ス) 経 済 学 科 経 営 シ ス テ ム 学 科 地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 (推 薦 A ・ 推 薦 B)	100	/	100	/	※ 100	300	/	/	20	320
(昼 間 コ ー ス) 経 済 学 科 経 営 シ ス テ ム 学 科 地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科 (推 薦 C)	/						60	60	10	130

※ 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用し、配点は、筆記「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「100点」とします。

医学部

区 分	大学入試センター試験						個別学力検査等		計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語 (英語)	小計	小論文	面接	
医 学 科	/	/	★	★	★	★	300	150	450
看 護 学 科	/						300	100	400

(注) 医学科推薦入試に課している大学入試センター試験(★印)は、高等学校における基礎学力の修得度を見るために利用します。外国語で『英語』のリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験の成績のみを利用します。

工学部

区 分	大学入試センター試験						個別学力検査等			計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小計	小論文	面接	調査書・ 志望理由書	
安全システム建設工学科 電子・情報工学科 知能機械システム工学科 材料創造工学科 (推 薦 I)	/						150	150	/	300
安全システム建設工学科 電子・情報工学科 知能機械システム工学科 材料創造工学科 (推 薦 II)	/	/	200	200	200	600	/	/	100	700

(注) 理科について、2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

農学部

区 分	小論文	面接	計
応 用 生 物 科 学 科	100	100	200